

## 事業者向

## 児童発達支援自己評価表

評価実施時期:2024年7月

評価公表時期:2024年8月

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点、課題や改善すべき点など
環境・体制整備	1	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切であるか	100	0	
	2	職員の配置数は適切であるか	80	20	・児童指導員や作業療法士等療育に詳しい職員を増員してほしい ・お子さまと職員が1対1で付くことができるように人員配置がされている
	3	生活空間は、本人にわかりやすく構造化された環境になっているか。また、障がいの特性に応じ、事業所の設備等は、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされているか	80	20	・ホワイトボード、カード等を使用している ・玩具棚の玩具を減らしわかりやすい工夫をしていきたい
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、子ども達の活動に合わせた空間となっているか	100	0	・毎日清掃、消毒を行い清潔な環境に気をつけている ・活動内容やねらいに応じて大型遊具を変更したり移動したりしている
業務改善	5	業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか	100	0	・振り返りを児発職員全体で行い、様子や内容といった情報共有を行っている。その際、次回の目標設定についても話し合っている
	6	保護者等向け評価表により、保護者等に対して事業所の評価を実施するとともに、保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげているか	80	20	・年に一度事業所評価を実施し、HPへ掲載している。またいただいた意見は取り入れ、改善へ努めている
	7	事業所向け自己評価表及び保護者向け評価表の結果を踏まえ、事業所として自己評価を行うとともに、その結果による支援の質の評価及び改善の内容を、事業所の会報やホームページ等で公開しているか	60	40	・ホームページにて公開している
	8	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか	20	80	・第三者評価はまだ実施していない
	9	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保しているか	80	20	・定期的に事業所内で内部研修を実施し、外部研修へも参加している ・事務所で研修案内を掲示している
適切な支援の提供	10	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成しているか	100	0	・定期的に職員間で話し合い、計画立案している ・保護者の言葉や、子どもの様子、興味関心を踏まえて適切に作成がされている
	11	子どもの適応行動の状況を把握するために、標準化されたアセスメントツールを使用しているか	60	40	・乳幼児の発達段階の資料といったものと照らし合わせながら、発達段階についての状況を把握をしている ・使いやすいアセスメントツールを模索中
	12	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「発達支援(本人支援及び移行支援)」、「家族支援」、「地域支援」で示す支援内容から子どもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか	80	20	・各項目から子どもの状況に合わせて、適切に作成がされている
	13	児童発達支援計画に沿った支援が行われているか	100	0	・記録の確認方法、振り返りの工夫をしている ・個別支援計画に沿って活動を実施している ・目標について、各職員で共通理解を計りながら行うことが出来ている
	14	活動プログラムの立案をチームで行っているか	60	40	・共通の目標に向かって活動できるよう話し合って決定している ・チームで活動内容や次回の目標について相談し合い決めている
	15	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか	100	0	・ねらいを設定し共有している ・活動が固定されないよう週間ごとで活動内容を変えている ・振り返りを行い、情報共有を測ることで、毎日のプログラムの改善や次回のプログラムについて決めている ・必要に応じて繰り返し同じ活動を行い、変化を観察するようにしている
	16	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせる児童発達支援計画を作成しているか	80	20	・子どもの発達状況に合わせて個別活動、集団活動を組み合わせる個別支援計画を作成している
17	児童発達支援計画に基づき、支援を実施しているか	100	0	・支援計画の目標を主軸にしながら活動を計画し進めている	

	18	児童発達支援計画に記載した目標が達成できているか	100	0	・スモールステップではありつつも、確実に目標達成に向けて成長出来ている
	19	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認しているか	40	60	・開始前には体制上難しいが、役割分担については週末に1週間単位で決めて提示し、次の日の支援内容については前日の活動後に決めている
	20	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか	100	0	・活動後に振り返りを実施している ・SNSツールを使用し共有している ・職員間でその日の様子について共有を行っている。また児童発達支援の職員のみならず保育園職員にも情報が見えるよう、ラインワークスにも載せている
	21	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか	100	0	・日々の記録を毎日行い、それらを次の活動のステップアップや改善につなげている
	22	定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断しているか	100	0	・日々の様子について話し合い、次の支援計画の内容についてどのようなことに取り組んでいくべきか話し合っている
関係機関や保護者との連携	23	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にそのこどもの状況に精通した最もふさわしい者が参画しているか	100	0	
	24	母子保健や子ども・子育て支援等の関係者や関係機関と連携した支援を行っているか	60	40	・左記機関のみならず、医療機関とも連絡を取り合い支援を行っている
	25	(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障がいのある子ども等を支援している場合)地域の保健、医療、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携した支援を行っているか	100	0	・保育園が隣接されており情報共有されている ・関係機関と必要に応じて適宜連絡をとれるよう、関係を築いている ・お子さまのかかりつけ医や嘱託医と連絡や共有を行いながら支援を行っている。また、お子さまによっては、クラウドサービスを利用し他機関との連携をしている
	26	(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障がいのある子ども等を支援している場合)こどもの主治医や協力医療機関等と連絡体制を整えているか	100	0	・必要に応じて主治医、訪問看護と連絡をとっている ・様子について連絡をしたり、相談ができる環境が整っている
	27	移行支援として、保育所や認定子ども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚部)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか	100	0	・外部保育園等との関係構築をおこなっている ・当事業所利用児の保育園に見学に行くなど、相互理解や情報共有を図っている
	28	移行支援として、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか	100	0	・見学会に参加している ・進学に向けて情報提供を特別支援学校や小学校と行っている
	29	他の児童発達支援センターや児童発達支援事業所、発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けているか	80	20	・発達支援センターから研修についての情報提供を受け、研修を受けている
	30	保育所や認定子ども園、幼稚園等との交流や、障がいのない子どもと活動する機会があるか	100	0	・併設保育園にも通園できる仕組み作りをしており、障がいのないお子さまとともに活動を行うことができている
	31	(自立支援)協議会子ども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加しているか	60	40	・自身は参加する機会が無かった。どのような形で実施されているのかなど、知っていききたい
	32	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか	100	0	・送迎の際に、日中の様子について伝えている。また、家庭での様子についても伝えて貰っている
	33	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対して家族支援プログラム(ペアレントトレーニング等)の支援を行っているか	60	40	・ペアレントトレーニングについての研修を受けるなど、理解を深めている。またペアレントトレーニングとしては実施していないが、送迎時や面談で話しをする中で、お子さまの反応の良かった関わり方、あそびを伝え、家族支援を行っている
	34	運営規程、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか	100	0	・外国籍の利用者様へは英語訳された書類を用意し、説明をしている
	35	児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」のねらい及び支援内容と、これに基づき作成された「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ているか	100	0	・保護者の方へ内容について文面を確認してもらった上で、合意を得て実施している

保護者への説明責任等	36	定期的に、保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っているか	100	0	・日々の様子から、相談を受けて答えている
	37	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援しているか	80	20	・懇談会やイベントを通して保護者同士の交流や連携ができるように図っている
	38	子どもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応しているか	100	0	・相談された内容について、職員間で共有を図り、対応方法について話し合った上で、対応を行っている
	39	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか	40	60	・SNS発信について、より積極的にしていく必要がある
	40	個人情報の取扱いに十分注意しているか	100	0	・名前は伏せて共有するようにし、保護者の方からいただいた情報や資料については個人ファイルに入れて保存をしている
	41	障がいのある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか	100	0	・外国籍の保護者の方へは、英語に訳した状態で連絡を行い、重要なことはラインで送るようにしている
	42	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っているか	80	20	・地域へ向けてイベントを行っている ・季節のイベントでは地域を練り歩くといった内容を取り入れ、地域へ積極的に関わっていくように活動内容を計画している
非常時等の対応	43	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や保護者に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか	100	0	・併設保育園と合同で定期的に行っている ・定期的に緊急時対応の訓練を行い、周知を行っている。また、児童発達支援の職員だけではなく、保育園の職員を含めた全職員に周知を行っている
	44	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか	100	0	・43と同様
	45	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等の子どもの状況を確認しているか	100	0	・事務所に、それぞれのお子さまについての注意してもらいたいことについて掲示し、共通理解を図っている
	46	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか	100	0	・食物アレルギーのある子どもは現在いないが、緊急時の対応方法について、訓練を行い、周囲が図られている
	47	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有しているか	100	0	・日々のヒヤリハットについて事務所内で掲示し、共通理解を図っている
	48	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか	100	0	・虐待/身体拘束防止研修を定期的に行い、適切な方法について話し合いを行っている
	49	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載しているか	100	0	・身体拘束の必要がある場合のケースについて理解や周知がされていて、保護者の方へ書面も合わせて合意を得ている

○この児童発達支援自己評価表は、児童発達支援センター又は児童発達支援事業所の職員の方に、事業所の自己評価をしていただくものです。「はい」、「いいえ」のどちらかに「○」を記入するとともに、「工夫している点」、「課題や改善すべき点」等について記入してください。